

令和元年 6 月吉日

各都道府県市町教育委員会教育長 様
各国立大学法人・公立・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関 係 各 位

第 56 回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会
石川大会 運営委員長 能波 裕司

第 56 回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会
令和元年度 石川県中学校技術・家庭科研究大会

石川大会のご案内 (最終案内)

時下の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、第 56 回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会石川大会を、県下 4 会場 4 分科会で開催いたします。本大会では、「生活を創り出す実践力を身に付けた生徒の育成」を研究主題とし、工夫し創造する能力の育成に重点を置き、研究を進めております。

多くの皆様にご参加いただき、ご指導を賜りますようご案内申し上げます。

大会開催要項

- 主催 全日本中学校技術・家庭科研究会
東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究会
石川県中学校技術・家庭科研究会
- 後援 (申請予定) 石川県教育委員会
能美市教育委員会 白山市教育委員会 金沢市教育委員会
石川県小中学校長会 石川県小中学校教育研究会
公益財団法人日本教育公務員弘済会石川支部
石川県産業教育振興会
公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会
- 期日 令和元年(2019年)10月17日(木)
午前 理事研修会 石川県地場産業振興センター
午後 全体会、分科会 石川県地場産業振興センター
10月18日(金)
公開授業、分科会 石川県内中学校 4会場

4 大会日程

10月17日(木)

11:20	12:00	12:30	13:30	14:05	14:45	15:00	16:20	16:30
理事会	休憩	受付	開会式	全体会	休憩	分科会	閉会式	

10月18日(金)

8:45	9:15	9:45	10:35	10:50	11:40	12:20	13:20	14:00	14:40	14:50
受付	開会式	公開授業	休憩	授業研究 研究発表① (石川県) 研究協議	研究発表① (他県) 研究協議 指導講評	昼食 休憩	研究発表② (石川県) 研究協議	研究発表② (他県) 研究協議 指導講評	閉会式	

- 5 研究主題 「生活を創り出す実践力を身に付けた生徒の育成」
—思考が広がり、深まる指導を通して—

6 主題設定の理由

人はよりよい生活をしたいと願い、それを求めている。生活の質の向上を目指すためにニーズが生まれ、社会はそれに応えようと技術開発等を進めている。このことにより、人々の生活がより豊かになってきている。しかし、新しい技術に対して、どのような仕組みでその技術がつけられ、活用されているのかということは、不透明になっている。そのため、これから人々がよりよい生活を創り出すためには、実生活に使われている技術を理解し、技術の見方や考え方で正解のない課題に対して最適な解を導く資質・能力と、その技術を活用する力、すなわち「生活を創り出す実践力」を身に付ける必要があると考えた。

本県研究会は、これまで「豊かな体験」を念頭に、実践的・体験的な授業を行ってきた。そして「問題解決的な学習の在り方」をテーマに、生活の中で直面する諸課題について、これまでの知識・体験を活かして、解決しようとする実践を通し「生活に生きる力」の育成を目指してきた。

そこで、本研究では「思考力」をテーマに、学んだ基礎・基本をもとにしながら、生活を創り出す実践力を身に付けた生徒の育成を目指して、本主題を設定した。

7 全体会

(1) 全体会会場

石川県地場産業振興センター 住所：金沢市鞍月2丁目1番地 TEL：076-268-2010
HPアドレス：<https://www.isico.or.jp/site/jibasan/>

電車でお越しの場合

(北鉄バス利用)

- JR金沢駅金沢港口(西口)より 約20分
金沢駅西口6番乗り場
「工業試験場行」または
「消費生活支援センター行」乗車
「工業試験場」下車

車でお越しの場合

- 金沢東ICより 約11分(約5.6km)
- 金沢西ICより 約9分(約4.7km)
- ※無料駐車場有



(2) 指導助言

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官
上野 耕史 様

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官
丸山 早苗 様

(3) 分科会(1日目) 技術分野分科会と家庭分野分科会の分野別分科会

〈テーマ〉 「新中学校学習指導要領と各県の取組」

- 〈内容〉
- ・パネルディスカッション形式で各県の取組について発表及び情報交換
 - ・調査官より指導・助言

8 分科会 (2 日目)

(1) 会場校 発表担当県

	内 容	会 場 校	授 業 者	発 表 担 当 県
第 1 分科会	C エネルギー変換の技術	金沢市立 城南中学校	福島 悟史	①岐阜県 石川県
	A 材料と加工の技術			②三重県 石川県
第 2 分科会	D 情報の技術	白山市立 松任中学校	吉田 茂昭	①静岡県 石川県
	B 生物育成の技術			②富山県 石川県
第 3 分科会	A 家族・家庭生活	能美市立 寺井中学校	山本 梓	①福井県 石川県
	C 消費生活・環境			②愛知県 石川県
第 4 分科会	B①衣食住の生活 (食生活)	金沢市立 清泉中学校	中居沙緒理	①三重県 石川県
	B②衣食住の生活 (住生活)			②富山県 石川県

(2) 各分科会場について

第 1 分 科 会	C エネルギー変換の技術		会場校 (◆交通アクセス) 金沢市立城南中学校 〒920-0966 金沢市城南 1 丁目 24 番 1 号 TEL:076-221-6979 FAX:076-221-6970 ◆北鉄バス 金沢駅金沢港 (西口) [5] 発 19 番 大桑本町 城南一丁目経由大桑本町行き 城南一丁目下車 徒歩 5 分 ◆タクシー J R 金沢駅より 約 18 分 (約 5. 4 km)
	提 案 者	荒木 勝人 (金沢市立野田中学校 教諭)	
	授 業 者	福島 悟史 (金沢市立城南中学校 教諭)	
	題 材 名	LED ライトを通して、生活をよりよくするエネルギーの利用について考えよう	
	【授業の概要】 具体的な生活場面を想定し、用途に応じて複数のセンサを組み合わせた自作 LED ライトの設置方法等を検討する。ライトの利用場面をグループで話し合い、用途 (防犯・照明・災害時等) に応じた複数のセンサの組み込み方や適切な感度の設定、設置場所を再検討し、目的に合わせた設計に活かす。		
	A 材料と加工の技術		
提 案 者	蛸島 洋平 (志賀町立志賀中学校 教諭)		
【研究の概要】 建築物や構造物において安全性や耐久性を考えることは大切であり、トラス構造などに着目した学習を行う。この丈夫な構造に関する基礎知識を活用し、背板の形状や組み立て方を工夫した設計を行い、収納箱の製作に取り組みさせる。そして、丈夫さと使いやすさを考え材料と加工の技術を活用する力を育て、技術を多面的に検討し、工夫や改善していこうとする生徒の育成を目指す。			

第 2 分 科 会	D 情報の技術		会場校 (◆交通アクセス) 白山市立松任中学校 〒924-0878 白山市末広 2 丁目 1 番地 TEL:076-276-1271 FAX:076-276-1272 ◆北鉄バス 松任駅前発 松任中央病院経由辰口ハイタウン行き 蕪城通り下車 徒歩 5 分 ◆タクシー J R 松任駅より 約 3 分 (約 1. 0 km)
	提 案 者	松井 充 (白山市立北星中学校 教諭)	
	授 業 者	吉田 茂昭 (白山市立松任中学校 教諭)	
	題 材 名	双方向性のあるコンテンツで生活を改善しよう	
	【授業の概要】 双方向性のあるコンテンツ (チャットボット) の制作により、身近にある課題を発見し、工夫・解決する。設計や制作では途中でアドバイスし合う場面を設け、利用者の立場や場面、条件など多面的・多角的な視野から作品の問題点を見つけたり、他の作品の良い点を参考にしたりしコンテンツの改良に活かす。		
	B 生物育成の技術		
提 案 者	蝦草 達哉 (能美市立寺井中学校 教諭)		
【研究の概要】 生徒一人一人にペットボトルなどの容器を利用して、葉物野菜を栽培させる。その結果を、生産性だけでなく安全性や環境、コストなどを多面的に検討させ、気象の影響や害虫の防除などの対応について考えさせる。その経験を活かして、2 回目の栽培を行わせることで、状況を適切に判断し栽培方法を選択できる生徒の育成を目指す。			

第 3 分 科 会	A 家族・家庭生活		会場校 (◆交通アクセス)
	提 案 者	道越 典子 (能美市立根上中学校 教諭)	能美市立寺井中学校
	授 業 者	山本 梓 (能美市立寺井中学校 教諭)	〒923-1121
	題 材 名	家族・高齢者などの地域との関わりを深めよう	能美市寺井町ラ 161 番地
	【授業の概要】 具体的な生活場面を設定し、高齢者など地域の人々との関わり方について課題を見つけ、その解決方法を工夫する。中学生も家族や地域の一人として支える側になり、協力・協働して社会を築いていかねばならないことを踏まえて、自分には何ができるのかを考え、今後の生活に活かす。		TEL:0761-57-0246 FAX:0761-57-0242
	C 消費生活・環境		◆能美バス 能美根上駅発 先端大学行き 16 寺井下車 徒歩3分
提 案 者	若狭 弘子 (白山市立北星中学校 教諭)	◆タクシー J R 能美根上駅より 約8分 (約3.1km)	
【研究の概要】 生徒は、代金決済手段が現金主体から急速にキャッシュレス化する中で消費生活を営むことが予想される。これらを受け、生徒に実体が見えないお金を意識させることで、金銭管理の必要性を実感できるような体験をさせる。そして、多様化する購入方法や決済方法を知り、適切に選ぶ力を育て、よりよい行動ができる消費者になれる生徒の育成を目指す。			

第 4 分 科 会	B① 衣食住の生活 (食生活)		会場校 (◆交通アクセス)
	提 案 者	盛野美智代 (金沢市立野田中学校 教諭)	金沢市立清泉中学校
	授 業 者	中居沙緒理 (金沢市立清泉中学校 教諭)	〒921-8042
	題 材 名	地元食材を使って食生活を改善しよう	金沢市泉本町3丁目3番地
	【授業の概要】 だしと地域の食材を用いた副菜・汁物の和食献立を作成する。初めに、加賀野菜の特徴や調理方法を学び、家族からの話を参考にし、献立を考える。さらに、グループで話し合ったり、ゲストティーチャーのアドバイスを受けていたりして工夫・改善を行い、調理実習につなげていく。		TEL:076-226-0881 FAX:076-226-0882
	B② 衣食住の生活 (住生活)		◆北鉄バス 金沢駅兼六園口 (東口) [9] 発 44 番 野々市市役所 西泉経由野々市車庫行き 金沢高校前下車 徒歩6分
提 案 者	藤原 玲子 (七尾市立七尾中学校 教諭)	◆タクシー J R 金沢駅より 約13分 (約3.9km)	
【研究の概要】 安全で心地よい住まいを工夫するため、エキスパート活動やジグソー活動を通して家庭内事故についてその種類と原因、事故の予防策を考えさせる。また、自然災害を想定し、地震対策として住居模型を使い安全な家具の配置を考えさせたり、台風、津波等が起こった時に安全に住むためには、どのような備えが大切かつ有効かについて、KJ 法等のグループ活動を通して、思考を広げ、深めさせたりすることにより、家庭や地域で実践していこうとする力を育成する。			

9 大会参加費

- (1) 大会参加費用 資料代4,000円
お弁当・お茶代 (希望者) 1,000円
- (2) 申し込み期間 令和元年7月上旬～9月20日 (金)
- (3) 申し込み方法WEB申し込み (取扱業者: 東武トップツアーズ 金沢支店)
※大会申し込みWEBサイトで各自がお申し込みください。大会申し込みWEBサイトは、石川県中学校技術・家庭科研究会公式WEBサイトのリンクからお進みください。

10 大会事務局

事務局長 野杉 博和
〒921-8013 金沢市新神田1丁目10番1号 (金沢市立高岡中学校)
TEL:076-291-3177 FAX:076-291-3176 E-Mail:hi-nosugi@kanazawa-city.ed.jp

※石川県中学校技術・家庭科研究会公式WEBサイト <http://www.ajgika.ne.jp/~ishikawa/>